

薬事委員会記録

日 時：平成 24 年 12 月 6 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：鶴見、大野、諏訪、村瀬、大島、大江、川瀬、青木、木村(豪)、松本、畠山、森田、木村(暁)、金森、富松、兼村、吉田、長瀬、紀ノ定、竹中、折居、中口、倉坪、北市、岡安、安田(浩)、西垣

代理出席者：奥村〔2 外〕、水谷〔泌尿器〕、市川〔精神〕、渡邊〔生支〕、熊田〔高次〕

委任状提出：伊藤、加納、荒木、堀川

欠席者：豊木、林、堀川

記録の承認

平成 24 年 9 月 6 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

9 品目（セロトニン錠 10mg、エクア錠 50mg、ツムラ半夏瀉心湯エキス顆粒、ネバナック懸濁性点眼液 0.1%、ブロナック点眼液 0.1%、エムラクリーム、プレアミン-P 注射液 200mL、オゼックス細粒小児用 15%、リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL）の採用を承認した。

2. 医薬品の採用検討について

4 品目（フェントステープ 1mg・同 4mg、ワンデュロパッチ 0.84mg・同 3.4mg）について、がんセンターより説明された後、採用決定について投票を実施した。その結果、フェントステープ 1mg・同 4mg については採用が承認され、ワンデュロパッチ 0.84mg・同 3.4mg については緊急購入で対応することとなった。

3. 医薬品の継続試用について

18 品目（アリクストラ皮下注 7.5mg、カンサイダス点滴静注用 50mg・同 70mg、ニコチネル TTS10・同 20・同 30、ヒューマリン N 注ミリオペン・同 R 注ミリオペン、プロイメンド点滴静注用 150mg、ボナロン点滴静注バッグ 900μg、イグザレルト錠 10mg・同 15mg、サーファクテン気管注入用 120mg、アブニション静注 15mg、インダシン静注用 1mg、エスポー注射液 750 国際単位、サムチレール内用懸濁液 15%、オキファスト注 10mg）の継続試用を承認した。

4. 医薬品の新規試用について

13 品目（レバチオ錠 20mg、オーキシス 9μg タービューヘイラー28 吸入、ネシーナ錠 12.5mg、献血アルブミン 5% 静注 12.5g/250mL「ベネシス」、ホストイン静注 750mg、アイファガン点眼液 0.1%、ゴナックス皮下注用 80mg・同 120mg、ジフルカンドライシロップ 350mg、ポプスカイン 0.25% 注バッグ 250mg/100mL、オムニパーク 240 注シリンジ 100mL、ツムラ清肺湯エキス顆粒、ディアコミットドライシロップ分包 250mg）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、13 品目について原案通り全て承認された。

5. 医薬品の採用中止について

12 品目（アリミデックス錠 1mg、ニバジール錠 4mg、モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」原末、ルジオミール錠 25mg、アズマネックスツイストヘラー200μg60 吸入、人工涙液マイティア点眼液、アザクタム注射用 1g、オプチレイ 320 注シリンジ 100mL、オルダミン注射用 1g、ソリター-T2 号輸液 500mL、ポプスカイン 0.75% 注 150mg/20mL、ロイスタチン注 8mg）の採用中止を承認した。

6. 医薬品の販売中止について

5 品目（リカマイシン錠 100mg、コンドロン点眼液 1%、ヒューマリン R 注キット・同 N 注キット・同 3/7 注キット）の販売中止が報告された。

7. 医薬品の院外採用について

16 品目（オーキシス 9 μ g タービュヘイラー28 吸入、ザーコリカプセル 200mg・同 250mg、ソマバート皮下注用 15mg、テネリア錠 20mg、リバロ錠 4mg、インライタ錠 1mg・同 5mg、ルネスタ錠 1mg、イムセラカプセル 0.5mg、アルタット細粒 20%、フェブrik錠 10mg、フルイトラン錠 1mg、プレドハン錠 2.5mg、メドロール錠 2mg、ラシックス錠 10mg）の院外採用を承認した。

7. 医薬品の製剤変更について

4 品目（グラン注射液 M300、ネスプ注射液 20 μ g/1mL プラシリンジ・同 60 μ g/0.6mL プラシリンジ・同 120 μ g/0.6mL プラシリンジ）の製剤変更を承認した。

報告事項

1. 緊急購入医薬品の登録について

13 品目（ザーコリカプセル 200mg・同 250mg、シュアポスト錠 0.5mg、トラゼンタ錠 5mg、ゾリンザカプセル 100mg、インライタ錠 1mg・同 5mg、ゴナックス皮下注用 80mg・同 120mg、ベネフィクス静注用 500 国際単位、イムセラカプセル 0.5mg、ツムラ清肺湯エキス顆粒、ツムラ麻杏甘石湯エキス顆粒）の緊急購入の登録が報告された。

その他

1. 不適切な用法指示に対する疑義対応について

用法の不適切な処方箋については今後共同指導等における指導の対象となるため、適切な用法での記載を徹底するとともに、不適切な用法については疑義照会の対象となるとの説明がされた。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 25 年 3 月 7 日(木)とした。